立山黒部アルペンルート

第５３期　報　告　書

平成３１年４月１日～令和２年３月３１日

ホテル立山

立山貫光ターミナル株式会社

事業概況（平成３１年４月１日～令和２年３月３１日）

令和元年度の事業概況についてご報告申しあげます。

当期のわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善により、個人消費や設備投資が増加傾向で推移し、内需を中心に緩やかな回復が続きました。一方で、消費税率引き上げ後の消費動向や米中通商問題の世界経済への影響など、依然として不透明な状況で推移しました。

観光業界におきましては、自然災害の発生や外交問題等のマイナス要因はあったものの、国の観光立国推進事業の取り組みに加え、ラグビーワールドカップ日本大会開催があり、訪日客が過去最高の３，１８８万人に達しました。

このような中、当期は、立山黒部アルペンルートの営業再開に合わせ、弥陀ヶ原ホテルは４月１０日から１１月４日まで、ホテル立山は４月１５日から１１月３０日まで営業いたしました。営業の推移を概観いたしますと、ホテル立山につきまして、春期はゴールデンウィークの１０連休や雪の大谷効果により、宿泊・昼食・売店の各部門において好調に推移しましたが、その後、前年よりも３週間遅い梅雨明けや、お盆の台風上陸によって旅客が減少しました。紅葉期につきましても、大型台風１９号によって、首都圏からの大動脈である北陸新幹線が約２週間に亘り一部区間が不通になったこと等により予約取消が多く発生し、前年を下回る結果となりました。

その結果、ホテル立山の宿泊人員は、３０，８６６人（前期比９２％）となり、宿泊収入は前期比９４％、食堂収入は前期比９１％、売店収入は前期比９６％、収入合計では前期比９４％となりました。

弥陀ヶ原ホテルにつきましては、シーズンを通して、ホテルリニューアル２５周年等アニバーサリー企画を中心に、当館の販売促進に努めました。しかしながら、ホテル立山同様に、夏以降は旅客が減少し、客種別では、一般個人客は前年並の人員をほぼ確保できましたが、企画個人客および企画団体は前年の実績を上回ることができず、前年を下回る結果となりました。

その結果、弥陀ヶ原ホテルの宿泊人員は、１６，５８７人（前期比８９％）となり、宿泊収入は前期比９２％、食堂収入は前期比９７％、売店収入は前期比８４％、収入合計では前期比９２％となりました。

宇奈月国際ホテルにつきましては、地元客をターゲットにした営業強化を図りながら顧客満足度の向上に努めてまいりましたが、平成３１年３月１日に最寄りの他社大型施設がリニューアルオープンした影響等もあり、前年と比べ、シーズンを通じて低調な動きとなりました。

その結果、宇奈月国際ホテルの宿泊人員は、１６，００５人（前期比６４％）となり、宿泊収入は前期比６６％、売店等を加えた収入合計では前期比６６％となりました。

この結果、当期の売上高は、ホテル立山収入７億４５百万円（前期比９４％）、弥陀ヶ原ホテル収入４億３百万円（前期比９２％）、宇奈月国際ホテル収入２億８８百万円（前期比６６％）、室堂飲食及び物品販売収入１０億１１百万円（前期比９４％）となり、これにビル賃貸収入１億８０百万円（前期比１０２％）を加えた営業収益合計は２６億２９百万円（前期比９０％）となりました。

次に営業費につきましては、経営全般にわたる効率化に努めましたが、人件費、物件経費等が減少したものの、減価償却費が増加した結果、合計は２７億５６百万円（前期比９４％）となりました。これに営業外収益１０百万円、営業外費用１百万円を加減した当期の経常損失は１億１８百万円となりました。さらに、特別損益、法人税等および法人税等調整額を加減した結果、当期純損失は９６百万円を計上することとなりました。

部門別営業成績は次のとおりであります。

ホテル立山宿泊営業成績表（令和元年度）

項目		実績	前期比%
営業日数	日	230	100
宿泊人員	人	30,866	92
一日平均宿泊者数	人	135	92
営業収入	千円	745,601	94
宿泊収入	千円	742,054	94
雑収入	千円	3,547	111
一日平均収入	千円	3,241	94
客室数	室	81	100
延使用客室数	室	13,704	93
客室回転率	%	74	97
宿泊定員	人	260	100
宿泊効率	%	51	93

（備考）営業期間(当期)：平成31年４月15日～令和元年11月30日(宿泊日数229日)
営業期間(前期)：平成30年４月15日～平成30年11月30日(宿泊日数229日)

室堂飲食及び物品販売業営業成績表（令和元年度）

項目		実績	前期比%
営業日数	日	230	100
室堂到達人員	人	712,697	92
営業収入	千円	1,011,632	94
食堂収入	千円	322,691	89
喫茶収入	千円	120,672	96
売店収入	千円	560,798	97
雑収入	千円	7,470	84
一日平均収入	千円	4,398	94
営業収入／室堂到達人員	円	1,419	102

（備考）営業期間(当期)：平成31年４月15日～令和元年11月30日
営業期間(前期)：平成30年４月15日～平成30年11月30日

弥陀ヶ原ホテル営業成績表（令和元年度）

項目		実績	前期比%
営業日数	日	209	100
宿泊人員	人	16,587	89
一日平均宿泊者数	人	81	89
営業収入	千円	403,686	92
宿泊収入	千円	335,929	92
雑収入	千円	1,693	148
食堂収入	千円	40,277	97
売店収入	千円	25,785	84
一日平均収入	千円	1,941	92
客室数	室	52	100
延使用客室数	室	7,208	89
客室回転率	%	67	89
宿泊定員	人	175	100
宿泊効率	%	46	88

（備考）営業期間(当期)：平成31年４月10日～令和元年11月４日(宿泊日数208日)
営業期間(前期)：平成30年４月10日～平成30年11月５日(宿泊日数209日)

宇奈月国際ホテル営業成績表（令和元年度）

項目		実績	前年比%
営業日数	日	365	100
宿泊人員	人	16,005	64
一日平均宿泊者数	人	44	64
営業収入	千円	288,328	66
宿泊収入	千円	247,931	66
追加飲食収入	千円	16,146	70
施設利用収入	千円	2,540	62
日帰り収入	千円	4,521	101
売店収入	千円	15,211	60
雑収入	千円	1,977	61
一日平均収入	千円	789	66
客室数	室	64	100
延使用客室数	室	6,822	66
客室回転率	%	29	66
宿泊定員	人	304	100
宿泊効率	%	14	65

（備考）営業期間(当期)：平成31年４月1日～令和 2年３月31日
営業期間(前期)：平成30年４月1日～平成31年３月31日

財産および損益の状況の推移

区分	第５０期（平成28年度）	第５１期（平成29年度）	第５２期（平成30年度）	第５３期(当期)（令和元年度）
売上高（千円）	2,749,662	2,779,295	2,921,182	2,629,582
当期純利益(損失)（千円）	18,542	1,131	△110,021	△96,595
１株当たり当期純利益(損失)	20円60銭	1円26銭	△122円25銭	△107円33銭
総資産（千円）	2,026,301	1,993,223	1,941,253	2,016,108

令和２年度の取り組み

近年、局地的な大雨が発生するなど地球温暖化による気象変動の影響により、航空機の欠航や鉄道の運休といった交通障害の被害が発生し、立山黒部アルペンルートも多大な影響をうけております。

加えて、今般の国内外における新型コロナウイルス感染拡大によって人の移動が制限され、観光業全体が深刻な事態に陥りました。立山黒部アルペンルートでは春の「雪の大谷ウォークイベント」を中止、さらに国内全域を対象とした緊急事態宣言が発令されたことを踏まえて、４月１５日の全線開通後間もない４月１８日から、立山駅～黒部湖間の営業を、期間を限定して休止することといたしました。

当面は予断を許さない状況が続き、さらに営業休止期間の延長も予想されますが、終息後を見据え効率的な事業運営に取り組み、経営基盤の安定を図ってまいります。

１．効率的な運営

新型コロナウイルス感染が拡大し、終息時期の見通しが立たない中、当社は、社長を本部長とし、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置いたしました。設置の目途は、グループ全体の事業運営の管理強化と役職員の感染予防対策などに対応する体制づくりを目指しております。

令和２年度の春期営業におきましては、売上高の大幅な減少が見込まれております。そうした中、業務の効率化やコスト削減などの事業運営の効率化に努めてまいります。

具体的には旅客の減少に伴い、弥陀ヶ原ホテルと宇奈月国際ホテルにつきましては令和２年度の営業を休止することといたしました。ホテル立山および室堂ターミナルにつきましては、期間を限定して休止し、再開時には販売店舗等を縮小して営業いたします。

新型コロナウイルス感染症の終息後につきましては、立山黒部貫光株式会社と一体となり、富山県、関係市町村、関係機関と共同にて、ＪＲ各社や各地区の旅行会社のご協力をいただきながら、誘客に努めてまいります。

２宿泊・食品の安全確保と自然保護

お客様に安心、信頼してご利用いただけるよう、施設や食品の安全には、今後とも万全を尽くしてまいります。施設の日常点検と整備、そして食品の衛生管理と品質管理を徹底してまいります。

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、お客様用のアルコール消毒液の設置や、館内の消毒清掃および換気の強化、従業員のマスク着用と検温・手指消毒の徹底などの対策を講じてまいります。

また、環境に配慮した施設設備の維持更新、ごみ処理対策の徹底等、引き続き、立山黒部の大自然を守り伝えるための努力を続けてまいります。

立山黒部アルペンルートは、令和３年に全線開業５０周年を迎えますが、これからも、佐伯宗義初代社長を始めとする幾多の先人の方々の、アルペンルート創業にかけた理想と理念を受け継ぎ、積極的な誘客促進と、安全かつ満足度の高い受け入れ態勢の構築に全力を傾注してまいります。

今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

財務諸表

貸借対照表の要旨

（令和２年３月３１日現在）　　（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	565	流動負債	292
現金及び預金	441	支払手形	4
売掛金	1	買掛金	6
未収金	30	短期借入金	62
商品	2	未払金	165
貯蔵品	80	未払費用	5
前払金	5	未払法人税等	6
前払費用	0	未払消費税等	4
その他	1	預り金	11
		賞与引当金	25
固定資産	1,450	前受収益	0
有形固定資産	1,217	固定負債	732
建物	612	長期借入金	197
建物附属設備	326	退職給付引当金	530
構築物	73	長期未払金	4
機械及び装置	8		
車両及び運搬具	3	負債合計	1,024
器具及び備品	44	（純資産の部）	
土地	119		
建設仮勘定	29	株主資本	1,003
無形固定資産	6	資本金	900
ソフトウェア	5	利益剰余金	103
電話加入権	1	その他利益剰余金	103
投資その他の資産	225	繰越利益剰余金	103
投資有価証券	61		
関係会社株式	35	評価・換算差額等	△11
繰延税金資産	97	その他有価証券評価差額金	△11
その他	31	純資産合計	991
資産合計	2,016	負債・純資産合計	2,016

損益計算書の要旨

（平成31年４月１日～令和２年３月３１日）（単位：百万円）

科目	金額
売上高	2,629
売上原価	743
売上総利益	1,886
販売費及び一般管理費	2,013
営業損失	126
営業外収益	10
営業外費用	1
経常損失	118
特別利益	6
特別損失	14
税引前当期純損失	126
法人税、住民税及び事業税	1
法人税等調整額	△31
当期純損失	96

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。また、消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

株主資本等変動計算書

（平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで）　　（単位：百万円）

	株主資本				評価・換算差額等	
	資本金	利益剰余金		株主資本合計		純資産合計
		その他利益剰余金	利益剰余金合計		その他有価証券評価差額金	
		繰越利益剰余金				
当期首残高	900	199	199	1,099	－	1,099
当期変動額						
当期純損失		△96	△96	△96		△96
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					△11	△11
当期変動額合計	－	△96	△96	△96	△11	△108
当期末残高	900	103	103	1,003	△11	991

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要／役員　（令和２年６月２６日現在）

●設立年月日
　昭和４２年１２月２４日

●資本金
　９億円

●発行済株式総数
　９００，０００株

●株主数
　２名　　立山黒部貫光株式会社
　　富山地方鉄道株式会社

●役　員

代表取締役社長		見角　要
専務取締役		中川　修
常務取締役	ホテル営業部長	石野一美
常務取締役	技術環境部長	高江　均
常務取締役	経理部長	中村直幸
取締役		辻川　徹
取締役	経営企画室長兼総務部長	秋元一秀
取締役	物販事業部長	大谷真一
取締役	宇奈月国際ホテル支配人	川高健裕
監査役		川嶋芳明
監査役		中田邦彦

アルペンルートと会社のあゆみ

昭和27年 4月 1日	立山開発鉄道株式会社（ＴＫＲ）設立（資本金2,500万円）
29年 8月13日	鋼索線（千寿ヶ原～美女平）営業開始
30年 7月 1日	高原バス（美女平～弘法）営業開始
31年10月 4日	弥陀ヶ原ホテル営業開始（ＴＫＲ）
35年 5月 8日	立山黒部有峰開発株式会社（ＴＫＡ）設立
39年 6月20日	高原バス全線（美女平～室堂）営業開始
8月 1日	関電トンネルトロリーバス（扇沢～黒部ダム）営業開始
11月 7日	ＴＫＡ第３４回取締役会で新会社（ＴＫＫ）設立を決議
12月25日	立山黒部貫光株式会社（ＴＫＫ）設立(資本金４億円)
42年12月24日	立山貫光ターミナル株式会社（ＴＫＴ）設立(資本金3,000万円)
44年 5月 8日	室堂ターミナルビル建設工事着工
7月20日	黒部ケーブルカー（黒部湖～黒部平）営業開始
12月 9日	立山トンネル貫通
45年 7月 1日	富山～信濃大町間を「立山黒部アルペンルート」と命名
7月25日	立山ロープウェイ（黒部平～大観峰）営業開始
12月15日	一般自動車道　桂台～美女平間供用開始（ＴＫＡ）
46年 4月25日	立山トンネルバス（室堂～大観峰）営業開始
6月 1日	立山黒部アルペンルート全線開業
47年 8月28日	室堂ターミナルビル全館完成
9月 1日	ホテル立山営業開始
54年10月 1日	ＴＫＫとＴＫＡが合併
61年 4月11日	宇奈月国際ホテル新築工事着工
62年 9月21日	宇奈月国際ホテル営業開始
平成 2年10月 1日	立山黒部サービス株式会社（ＴＫＳ）設立（資本金1億円）
3年10月11日	弥陀ヶ原ホテル改築のため閉館
6年 7月12日	弥陀ヶ原ホテル改築営業開始
12年 4月 1日	弥陀ヶ原ホテルＴＫＲから経営受託
17年10月 1日	ＴＫＫとＴＫＲが合併 （存続会社 立山黒部貫光株式会社）
21年 4月 1日	宇奈月国際ホテルＴＫＫから経営受託

ホテル3館のご案内

立山黒部アルペンルート

ホテル立山

〒930-1414富山県中新川郡立山町芦峅寺室堂
☎(076)463-3345　FAX(076)463-3348
https://h-tateyama.alpen-route.co.jp/

弥陀ヶ原ホテル

〒930-1412富山県中新川郡立山町芦峅寺弥陀ヶ原
☎(076)442-2222　FAX(076)442-2242
https://midagahara.alpen-route.co.jp/

宇　奈　月　温　泉

黒部峡谷宇奈月温泉 宇奈月国際ホテル

〒938-0282富山県黒部市宇奈月温泉7-26
☎(0765)62-1236　FAX(0765)62-1808
https://unazukikokusai.alpen-route.co.jp/

（編集･発行）立山貫光ターミナル株式会社
〒930-8558富山県富山市桜町1-1-36
☎(076)441-3331(代表)　FAX(076)433-1185